

ワンポイント **GIGA** 通信

Vol. 4



今回のポイント：「夏休みの思い出や作品を、

ICTが苦手な人も
「まずはここから！」

クラウド上で共有する。」

例1 【夏休みに作成した工作や絵画等自身の作品を撮影
→クラウドにアップして、紹介し合う】

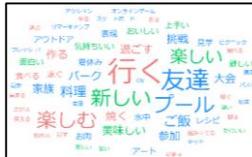
- ① 児童生徒に夏休みに作成した作品(絵画、科学工作等)を、端末のカメラで撮影させる。
- ② オンラインホワイトボードアプリ(Google Jamboard、ロイロノート等)に画像をアップロードさせる。その際、「作品のおすすめポイント」等を記入させてもよい。
- ③ 互いに鑑賞した後、クラウド上で感想等を記入させる。(家庭学習でも可能)

例2 【クラウドを活用して、それぞれの
夏休みの思い出を共有する】

- ① 教師は、事前にオンライン表計算アプリ(Googleスプレッドシート、Excel等)を活用し、クラス全員の「名前」と「夏休みの思い出」を入力できる枠を作成しておく。
- ② 夏休み明けのHR等を活用し、クラウド上に入力させる。
- ③ ②で作成したものを元に、「夏休み思い出発表会」を開催し、交流する。

※全員の思い出を「テキストマイニング」して、共通したキーワードを取り上げてよい。

AIテキストマイニング
「ユーザーローカル」
<https://textmining.userlocal.jp/>



番号	氏名	夏休み一番の思い出と、その時感じたこと
入力例	岡山 花子	家族と池田動物園に行った。動物たちも暑そうだったが、ペンギンのさんぽがとてもかわかった。
1	N藤 H子	家族でキャンプに行った。夜はバーベキューをしたり、キャンプファイヤーをした。虫が多くて大変だったが、とても楽しかった。
2	S木 T郎	地元の夏祭りに友達といっしょに花火を見た。音が大きすぎてびっくりしたが、とてもきれいだった。
3	T橋 M咲	家族旅行で、東京ディズニーランドに行った。とても暑くて待っている間に、あせがたくさん流れてきたけど、アトラクションはすごく面白かった。
4	T田 K太	学童の友達と広島原爆資料館に見学に行った。戦争や平和についてたくさん調べることができ、とても心に残った。
5	W辺 M結	大会に向けてプールで平泳ぎの特訓をした。目標タイムにあと一步到達できなかったけど、大会では7位入賞できた。

↑各自が記入する行(セル)の間に、「余白の行」を挿入しておくことで、誤入力を避けることができる。

本実践で育成できる児童生徒の資質・能力

クラス内の友達が、夏休みをどう過ごしたのか、何に取り組んだのかが瞬時に分かり、お互いの頑張りや成長を認め合うことにつながります。クラウドを活用して各自の思いや意見を記入する活動は、**随時他者参照**できるので、何を書けばよいか分からない児童生徒も、友達の意見を参考にすることができます。

本実践における教師のメリット

クラス全員の夏休みの作品や過ごし方を、端末一台で把握できる。児童生徒へのフィードバックもクラウド上で行うことで、**業務の効率化**にもつながる。

「こんなときどうする？」端末活用 Q&A

- Q. 同じ時間に入力させると、ローマ字入力のタイピングスピードに差があるため、時間差が生まれる可能性があります。
- A. タイピング練習に取り組みしていない場合は、個々の入力スピードに差があるのは当然です。夏休み明けのHR等で本実践を行う場合は、多少の時間差は許容して、ゆったりと取り組みましょう。ローマ字入力が難しい場合は、音声入力や手書き入力でも構いません。今後、空き時間や隙間時間等を活用して、可能な範囲でタイピング練習に取り組み、**クラス全体のタイピングスピードのレベルアップ**を図りましょう。

参考「隙間の時間を利用してタイピングカUP」
文部科学省GIGAStuDX
<https://www.mext.go.jp/studxstyle/skillup/4.html>

